

☆ キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント

2019年5月1日号

=vol.23=

～ごあいさつ～

こんにちは。ホワイトボックス コンサルティング部の阿部勇司です。記念すべき令和元年なので、本来は配信日がお休みの場合の発行は休み明けというルールになっていますが、さすがに10連休明けまで我慢できず、第23号は令和元年の配信とさせて頂きました(笑)。

昭和から平成への移行が昭和天皇の崩御という悲しい後だったことに比べて、改元という点では同じ行事であるのに、令和を迎える雰囲気はなんと明るいことでしょうか。この一点において、気持ちをどのようにもつか、どのような方向に向けるかということの重要性を再認識した次第です。

さて、今回の《☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント》は、次の内容でお届けします。

【目次 (Contents)】

- ◆今号の注目 Topic : 「病院にまつわる数値を可視化」
- ◆WB's Opinion : 「病院経営のモニタリング」
- ◆お知らせ
- ◆編集後記

*本メールは、ホワイトボックス(株) コンサルティング部スタッフと名刺交換をさせて頂いた皆さま及び弊社がサイト運営している、ドクターレジャーボックスのWebサイトに無料会員登録された皆さまへお送りしています。配信停止を希望される方は、お手数ですが本メール文末にある購読解除手続きへお進みください。

【今号の注目 Topic】

▽病院にまつわる数値を可視化

データの時代と言われて久しいですが、これまでのことは単なる序章に過ぎず、データの管理や利用がAIの発展によって、どこかのタイミングでさらに爆発的に拡がることであってもなんの不思議もありません。

しかし単にデータを集め分析しそれらを開示しても、なぜ可視化をする必要があるのか。何を可視化するのか。この点の議論を飛ばしてしまっただけでは、単にデータ分析に余計な時間と労力を費やしてしまった…なんてことにもなりかねません。

可視化に必要な考え方を整理したうえで、「何を可視化するのか」といった思考が大切で
すし、なにより大事なことは、“得られたデータから導いた仮説を検証のうえ実行できる”こ
とにあるのだと理解しています。

<http://bit.ly/2ZFeLwm>

【WB's Opinion 「病院経営のモニタリング」】

医療を提供する組織として存在する病院は、同時に組織として、少なくとも毎月の成果を
把握しなければなりません。そのことで、問題点を発見し課題化してこれを修正し、もって
より良い医療を行っていく体制を作り上げることが求められます。

成果を把握することをモニタリングといいます。実情を把握し、その内容を開示し、モニ
タリングを必要とする利害関係者、すなわち理事会や院長、医局、看護部、診療支援部、事
務部に対し伝えていく必要があります。モニタリングには、定量的なモニタリングと定性的
なモニタリングがあります。前者は指標管理や会計が該当しますし、後者は院内にある様々
な情報が当てはまります。提供される情報には、医師の去就や看護師の採用動向、患者の傾
向や他病院との連携状況といったことだけではなく、ヴィジョンの明示や組織目標の設定
が、モニタリング項目に該当します。

また、報告のために行われる会計は財務会計であり、管理のために行われる会計は管理会
計といいます。財務会計は年に1度外部に報告されるものがあり、管理会計には予算実績
管理や月次決算、指標管理、部門別損益計算、そして経営意思決定のための投資経済計算と
いったものが含まれます。

モニタリングは網羅的に行われなければ、病院の経営状況をつぶさに把握できません。そ
れだけでなく、大きな問題を見逃したり課題を解決できずに終わることもあります。とりわ
け月次決算を発生主義にて翌月15日までに終了することや、部門別損益計算を行うことで、
部門ごとの損益や診療科別の損益が計算できなければ、院内に内在するテーマを発見する
ことができません。

ときどき、医事点数を基礎としてのみ各部門の評価をする病院がありますが、それぞれの
部門の原価が異なるため、これでは利益の源泉に近づくことができません。利益を管理する
ためには各部門の損益を把握する必要があります。こうして損益構造を分析し、患者数が足
りないのか、単価が低かったのか、あるいはどの経費が過大であったのかについて原因を特
定し、そのうえで業務改革、コスト削減、在院日数短縮、紹介率向上、職員増員などといっ
た選択肢を検討し、具体的な行動に結びつけていくこととなります。

モニタリングが網羅的に行われる必要があるのは、こうした理由によります。

【お知らせ】

▽書籍のご紹介「サクセスキューブ このフレームワークであなたも必ず成功できる」

<http://www.whitebox.co.jp/success-cube/>

= 成功を「誰にでも再現できるものに」 =

弊社代表 石井友二の最新刊が幻冬舎から発刊されています。本書では、成功の要件に欠かせない6つの要件、「思い」×「信念」×「技術」×「人間力」×「コミュニケーション」×「達成感」を、私たちの身近にあるサイコロ（キューブ）の6つの面を使って表現することで、誰にでも理解しやすいフレームワーク「サクセスキューブ」として示しています。

一流のビジネスパーソンが無意識に実践している思考法を、“キューブ”を使って理論化した最新刊は、以下の URL から電子書籍でもお求めできます。

<https://www.gentosha.co.jp/book/b11933.html>

【編集後記】

すでにスコアリングがあらゆる場面ではじまることが想定されています。クレジットカードなどの発行審査などはその代表例といえそうですが、スコアリングはあくまで過去の履歴であることを忘れないようにしたいものです。スコアにばかり気をとられ、本来自分を取りたい行動とは違う行動をとることによってスコアをあげたことができたとしても、果たしてそれが本当に自分の満足度や幸福度につながるのかどうか。

納得のいかない勝ちも、全力を出し切ったうえでの負け以上に悔いが残る。データの時代を生き抜くための模索が続きます。

▽ご意見・お問い合わせ

本メールマガジンは自動配信システムを利用して送信しております。そのため送信元のメールアドレスに返信しても届かない場合がございますので、ご意見・お問い合わせ等につきましては、お手数ですが以下のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ support@whitebox.co.jp

▽登録解除フォーム

メールマガジン購読解除を希望される方は、下記のフォームから手続きをお願いします

<https://goo.gl/QWL7dE>

▽ホワイトボックス(株)メールマガジン「☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント」
は毎月15日と月末に発行予定です(該当日が週末の場合は、週明けに発行します)。

発行：ホワイトボックス株式会社 コンサルティング部

HP <http://www.whitebox.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-11 銀座120ビル7階

☎：03-6278-8741

*掲載記事の無断掲載を禁じます

Copyright ©ホワイトボックス株式会社 All Rights Reserved.